

# エヌビディア (NVDA)

記録的な増収増益とともに、利益率も改善。AI 技術の浸透・普及化努力が成長因子。TSMC の生産体制がリスクに。

## ナスダック | 半導体素子 | 業績フォロー

BLOOMBERG NVDA:US | REUTERS NVDA.OQ

**業績サマリ**：8月23日発表の2024/1期 2QのGAAP調整後の実績では、売上が前年同期比101%増、純利益は同9.43倍となる61億USDの記録的な増収増益となった。粗利率は+5.5ptsの70.1%、営業利益率は+15.1ptsの57.5%へと改善。売上高の76%を占めるデータセンターGPUは同171%増加。大規模言語モデル（LLM）などのAI普及による需要急増が背景である。

**新製品・他社提携**：データセンター向け統合プロセッサであるGH200 Grace Hopper Superchipが23年 3Q中の出荷開始を予定。エヌビディア初となる自社設計のデータセンターCPUであるGrace CPUを備えており、独自のチップ間高速連携技術（NVLink-C2C）を用いてHopper GPUとの統合環境を構築。LLMなどの生成AIにおける高いパフォーマンスを実現する。さらに広帯域高速メモリ（HBM3e）を備えた次期製品の発売を24年2Qに予定。

その他、ソフトウェア搭載済みのサーバー製品であるAI-Ready Serverなどの投入や、Accenture社らとの提携による企業向けAI活用支援策や、VMwareとの連携でのAIクラウド環境構築など、企業のAI導入を促進する戦略を展開。

**投資論点・リスク**：エヌビディアの現在の地位は、CUDAをはじめとした開発環境充実によるプラットフォーム価値に依存している。製造業における製品不良検出や製造シミュレーション、創薬や化学製品開発など、AIの応用分野が複数領域へ拡大し、プラットフォーム価値が向上していくことが成長ドライバーとなるだろう。

製造委託先のTSMCは、建設中の米アリゾナ工場の稼働遅延や独ドレスデンへの工場誘致などを巡り、技術者の配置に苦慮している。こうした事情から納品遅延や生産増加に対応できない等の可能性があることは潜在的なリスクである。

8月21日、エヌビディアの取締役会は250億ドルの自社株買い枠追加を承認。還元強化策は同社の高いバリュエーションを正当化する材料となるだろう。

四半期・半期業績	24/1/1Q	24/1/2Q	24/1/1H	24/1/3QF
売上高（百万USD）	7,192	13,507	20,699	16,032
当期利益（百万USD）	2,043	6,188	8,232	9,869
希薄化後EPS（USD）	0.82	2.48	3.30	3.32
四半期配当（USD）	0.04	0.04	0.08	0.04

通期実績推移	2021/1	2022/1	2023/1	2024/1F
売上高（百万USD）	16,675	26,914	26,974	54,237
売上総利益（百万USD）	10,396	17,475	15,356	38,599
粗利率（%）	62.34	64.93	56.93	71.17
営業利益（百万USD）	4,532	10,041	4,224	30,596
営業利益率（%）	27.18	37.31	15.66	56.41
当期利益（百万USD）	4,332	9,752	4,368	23,642
希薄化後EPS（USD）	1.73	3.85	1.74	9.59
PER（倍）	64.06	58.96	83.31	41.34
PBR（倍）	19.06	21.51	22.72	27.24
ROE（%）	29.78	44.83	17.93	77.02

引用：企業公表値、ブルームバーグ（1Hは上半期実績累積、Fはブルームバーグ予想値）

## フィリップ証券株式会社・リサーチ部

三角友幸

TEL：+81 3 3666 0707（直通）

E-mail：tomoyuki.misumi@phillip.co.jp

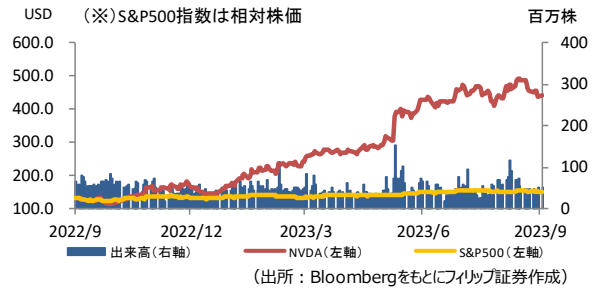
予想配当（USD）	0.17
株価（USD）	439.66
実績 PER（倍）	102.34
予想 PER（倍）	41.34
時価総額（10億 USD）	1,086
企業価値（10億 USD）	1,081
3ヵ月平均売買代金（百万USD）	22,085

\* 配当予想と予想PERはブルームバーグ、各数値は9/19日終値による

### 会社概要

1993年設立の半導体ベンダー。画像処理目的の半導体チップであるGPU（Graphic Processing Unit）が主力製品。GPUの汎用目的化ツール・開発環境となるソフトウェアCUDAを提供。人工知能（AI）やハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）用半導体製品において独占的な地位を築く。現CEOは創業者であるジェンソン・フアン氏。

### 株価推移



FY24/2Q 製品別売上 (百万USD)	QoQ	YoY	
データセンター	10,323	141%	171%
ゲーミング	2,486	11%	22%
プロ向け画像処理	379	28%	-24%
車載向け	253	-15%	15%

引用：企業公表値

新製品・サービス発表	製品	告知内容
NVIDIA GH200 Grace Hopper Superchip	CPU/GPU	3Q23出荷
NVIDIA L40S GPU	GPU	3Q23発売
NVIDIA AI-Ready Servers	サーバー	3Q23発売
NVIDIA Spectrum-X	通信機器	3Q23発売
NVIDIA AI Enterprise 4.0	ソフトウェア	アップデート
NVIDIA AI Workbench	ソフトウェア	新規リリース

引用：企業プレスリリース

戦略的提携先	事業領域
ServiceNow, Accenture	企業向けLLM活用支援
VMware	AI用途クラウド環境構築
Snowflake	企業独自データ生成AI
WPP	生成AIによる企業広告
SoftBank Corp	5G/6G環境AIAアプリ実装
Hugging Face	産業用AIプラットフォーム
MediaTek	コネクテッドカー・自動運転

引用：企業プレスリリース

利益還元推移	21/1	22/1	23/1
自社株買い総額（百万USD）	7,080	7,080	10,040
DPS（USD）	0.16	0.16	0.16
配当利回り（%）	0.12	0.07	0.08

引用：企業公表値、ブルームバーグ

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 三角 友幸

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。